

2024年12月2日
商工中金

金属製建材等を製造する東邦シートフレーム株式会社に対し、
ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（本店営業部）は、東邦シートフレーム株式会社（本社：東京都中央区、代表者：鈴木 康友）に対し、サステナブル経営に必要な資金1億5,000万円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、金属製建材・鋼製ドラム缶の製造販売や車両樹脂製品の加工等を手掛けています。近年は、ポリカーボネート（※）をはじめとする高機能かつ長寿命な素材を使用した製品開発も手掛け、鉄道車輛や船舶などへの採用が進んでいます。

（※）衝撃に強く、割れにくい特性を持つプラスチック素材

今回同社は、環境配慮型製品の開発・普及や温室効果ガス削減に向けた取組み等を通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【東邦シートフレーム株式会社の概要】

| | |
|------|-------------------|
| 所在地 | 東京都中央区日本橋3丁目12番2号 |
| 代表者 | 鈴木 康友 |
| 業種 | 金属建材、鋼製ドラム缶の製造販売等 |
| 資本金 | 3億5,000万円 |
| 従業員数 | 167名（2024年9月時点） |
| 設立 | 1937年3月 |

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

